

# 泰明だより



Taimei・令和 3・2

泰明小ホームページ

<http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第363号  
中央区銀座五丁目1-13  
Tel 03(3571)1765  
Fax 03(3571)0672

124年ぶりの鬼は外！福は内！

副校長 山本 有子

なにかと下を向いて生活することが多い最近。コロナ不安のせい、スマホの見過ぎか、仕事の疲れか、はたまた老いなのか…は置いといて、努めて空を見上げるようにしています。夜空には今「オリオン座」が美しいですね。都会の真ん中では、多少見えにくいかもしれませんが、私の住む郊外では、その美しい姿を眺めるのが、この季節の楽しみです。

思い出すのは、小学生の頃よく出かけたプラネタリウムです。ドームに映し出された美しい星空にわくわくし、天文学的な難しい話さえも感動して、ただただ夢中で耳を傾けておりました。(幸い、中央区には区立のプラネタリウム「タイムドーム明石」がありますね。お勧めです。)

そういえば、先日スーパーマーケットに行った際、「今年の節分は、2月2日です。ご予約はお早めに。」と恵方巻きか何かのセールス放送を聞きました。そうです！2月と言えば「閏(うるう)」の月。閏とは、「少し多いこと」で、正に天文の世界の話です。「閏年」や「閏月」「閏秒」…プラネタリウムで聞いたあの話だ！！と、もうあの頃のわくわくが蘇ってきます。

「季節のめぐりを表す、いわゆる1年とは1太陽年のことで、1年ごとでは1太陽年365.2422日と1年365日の差から約6時間ずつ遅くなる。約4年で約1日分となり、暦の修正のためにうるう年があり、そこで戻した際に、4年前より少し早くなる、というパターンを繰り返す。

(裏面に続きます)

## 2月のカレンダー

このマークはセカンドバッグ登校日です

1	月	講話	
2	火		新一年生保護者会(中止)
3	水		👜
4	木		👜
5	金		
6	土		
7	日		
8	月	講話	健康優良努力児童表彰式(校内)委員会
9	火		安全指導
10	水		5-2研究授業のため : 下校 中休みマラソン練習(1)
11	木		建国記念の日
12	金		6年学級活動③④
13	土		土曜授業(4時間授業) 命と心の授業(1、3年) SNS教室(6年)
14	日		
15	月	講話	クラブ活動
16	火		新一年生校長面談その1
17	水		👜
18	木		新一年生校長面談その2 金管演奏鑑賞会(3、4年) 中休みマラソン練習(2) 能楽体験教室(6年)⑦
19	金		新一年生校長面談その3 地域巡回指導
20	土		
21	日		
22	月	講話	
23	火		天皇誕生日
24	水		小中連携日 中休みマラソン練習(3)
25	木		👜 保護者会(6年)
26	金		6年生を送る会
27	土		👜 土曜授業日
28	日		

校長相談日 2月15日(月)

9:00~14:00

(表面からの続きです)

しかし、それらも、長い年月の蓄積で更に微調整が必要となり、しばらく2月4日の中に納まっていた立春の日が令和3年には2月3日へ移り、その前日の節分も連動して2月2日へ移った」ということで、これは、なんと124年ぶりのことです。

124年前は、明治30年。私の祖父が最上級生として泰明小学校に在籍していた時だとわかり、思わず「おじいちゃん、つながりましたね。」なんてロマンチックな気分になって、また上を向けた私です。

昨年に引き続き、「新型コロナ」のニュースで、心が暗くなりがちな毎日ですが、「コロナ不安」も含めて、豆まきで「邪気」を追い払い、皆様に「福」がたくさん訪れますように。

### 席書会 & 書き初め展

6年担任 大庭 正泰

毎年、冬休みを含むこの季節になると、何人かの友人から作品の写真が何候補か送られ、「どちらの作品の方がいいと思う？」などと相談されます。ご家庭でも、「どちらの方が上手く書けたかな。」などの会話が親子で交わされたことでしょうか。今年度も書き初め展に向けた保護者の皆様のご協力、ありがとうございました。

本校の席書会および書き初め展では、1・2年生は鉛筆による硬筆、3年生以上は、普段毛筆で使う筆よりも一回り大きな「だるま筆」を使用します。

「どちらがよく書けている？」

その答えは、特に毛筆では、だるま筆の大きな穂先を存分に生かした文字の力強さ（濃さや太さ）、堂々とした文字の大きさ、というあたりがポイントになってきます。

1年生は初めての書き初め展でした。3年生は初めて毛筆での書き初め展に臨みました。6年生は最後の出品となりました。本来でしたら保護者の皆様をお迎えし、作品をじっくり鑑賞していただきたかったのですが、今年度はかないませんでしたこと、お詫び申し上げます。以下は、書き初め展の様子の一部です。

